

この4月から、福島市立野田中学校が勤務先となった。今まで一体何度転勤したのかと数えてみた。今回がちょうど10回目だった。

振り返ってみると、福島市の学校に勤務するのは14年ぶりとなる。また、中学校で働くのは11年ぶりとなる。自分では、自分のことを福島市の中学校教員だと思っていた。しかし、もはやホームに戻ったとは言い難いほどの時間が経過している。

そこで、今回もこの言葉が浮かんできた。「転勤は最大の研修である」また研修の日々が続く。とはいえ、新しい職場には昔お世話になった先生方がいらっしゃる。やはり心強い反面、昔の私を知られているのも困る。10年という歳月が、少しは人を成長させているものと思いたい。

野田中学校にはソフトテニス部があるのは以前から知っていた。先日、学校の周りを一周してみたところ、校庭の北側にテニスコートが並んでいた。数えてみた。なんと6面もあるのではないかと。私の認識では4面だった。「そうか。6面もあったのか。若いときに来たかったなあ」とつい思ってしまった。

以前、まだ若い頃だが、テニスコートの面数が多い学校に行きたいと考えていた時期があった。だが、現実には甘くはなかった。最初の学校は2面だった。次は学校にコートがなく、平日は近くの公民館のコートをお借りし、週末はジプシーのようにあちらこちらのお世話になっていた。今頃になって、私の目の前に6面のコートが現れるとは、人生とはわからないものである。

私には、小学校というチャンネルがあった。そこに中学校というチャンネルが加わった。次に衛星放送ではないが、海外というチャンネルも増えた。学校現場ではないチャンネルもついた。そして、高等学校というチャンネルが加わった。これからは、その度ごとにチャンネルを使い分け、ものを考える際の“ものさし”として、自分が判断する際の根拠や材料としたい。

これらのチャンネルの中で、一番さび付いているのが中学校というチャンネルである。だが、スイッチが入れば、すぐに戻ると思う。いや戻るのではなく、一歩先を行かなければならない。タイミングよく改訂された学習指導要領が令和3年度から全面実施となる。私にとっては、最後の学習指導要領となる。

様々なことを考えると、今まで貯めに貯め込んできたものを一気に使うのが、今回の勤務先である福島市立野田中学校となる。これまでに、たくさんの資料を項目別にファイルしてきた。だが、10年も前の資料では、もはや役に立たないものもある。賞味期限切れである。仕方ないので、次から次へと整理した。残った資料は、改めて項目ごとにファイルし直した。10年という月日は、項目さえも変えていた。

さて、この「校長室だより～燦燦～」は今号のNo.334から再スタートとなる。また、生徒向けには「校長通信～夢拓く～」を毎週出していく。さらに、野田中学校の先生方には、「職員室だより『切磋琢磨』」を毎週読んでいただき、それこそ切磋琢磨のきっかけとしていただきたいと思います。

テレビのチャンネルは少ないよりはたくさんあった方がいいだろう。教員人生のチャンネルも一つよりは複数あった方がよいということこれから証明していきたい。